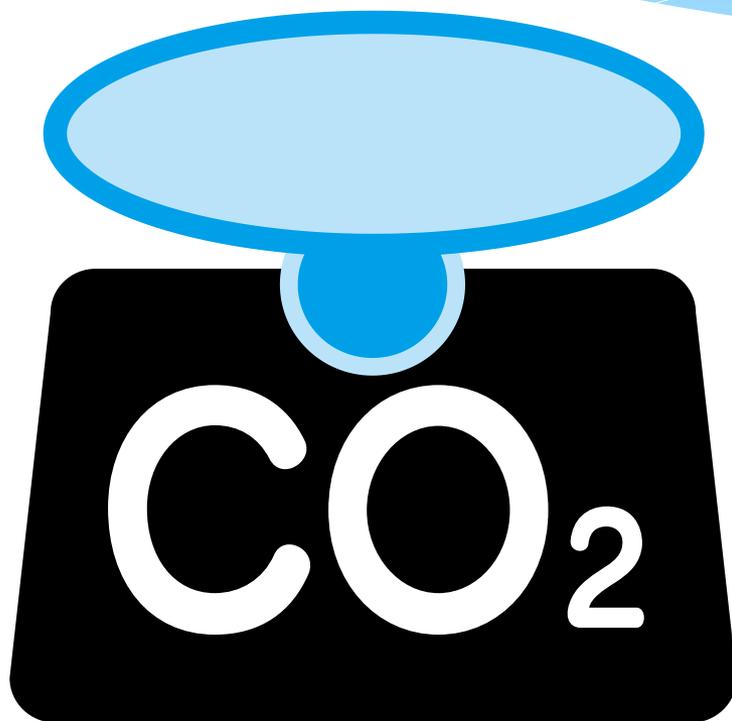


カーボンフットプリントで コミュニケーション!!



社団法人産業環境管理協会
カーボンフットプリントコミュニケーション
プログラム事務局
伊藤 聖子

CFPコミュニケーションプログラム 参加マーク



このマークが目印です。



カーボンフットプリント CFPって？

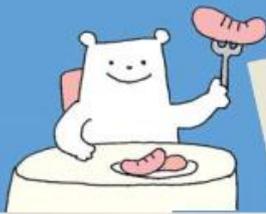
C arbon

F ootprint of

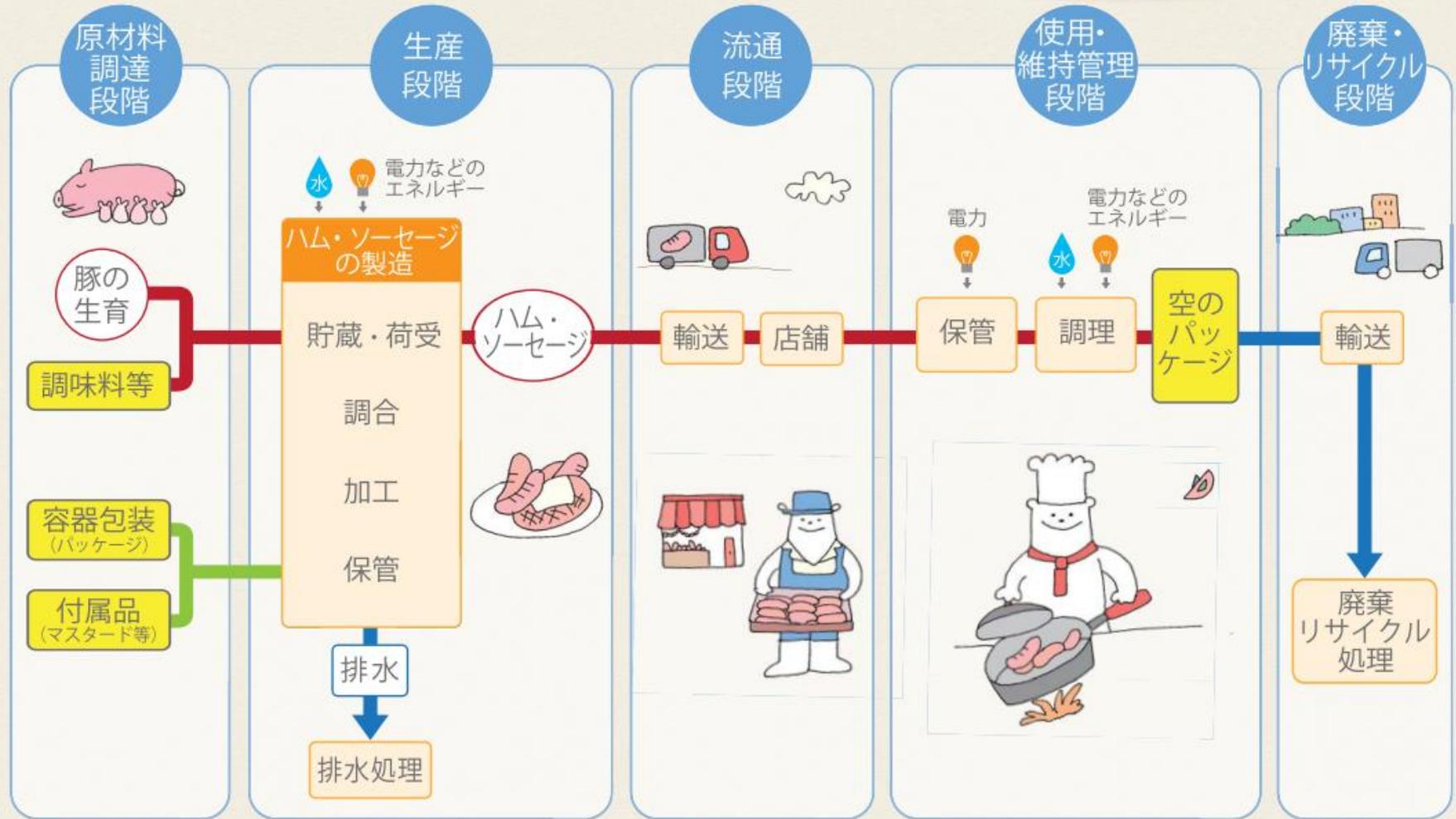
P roducts

製品の 炭素の 足跡

作って・使って・捨てるまでの、製品の一生を通じたCO₂の排出量を見える化する取り組み。



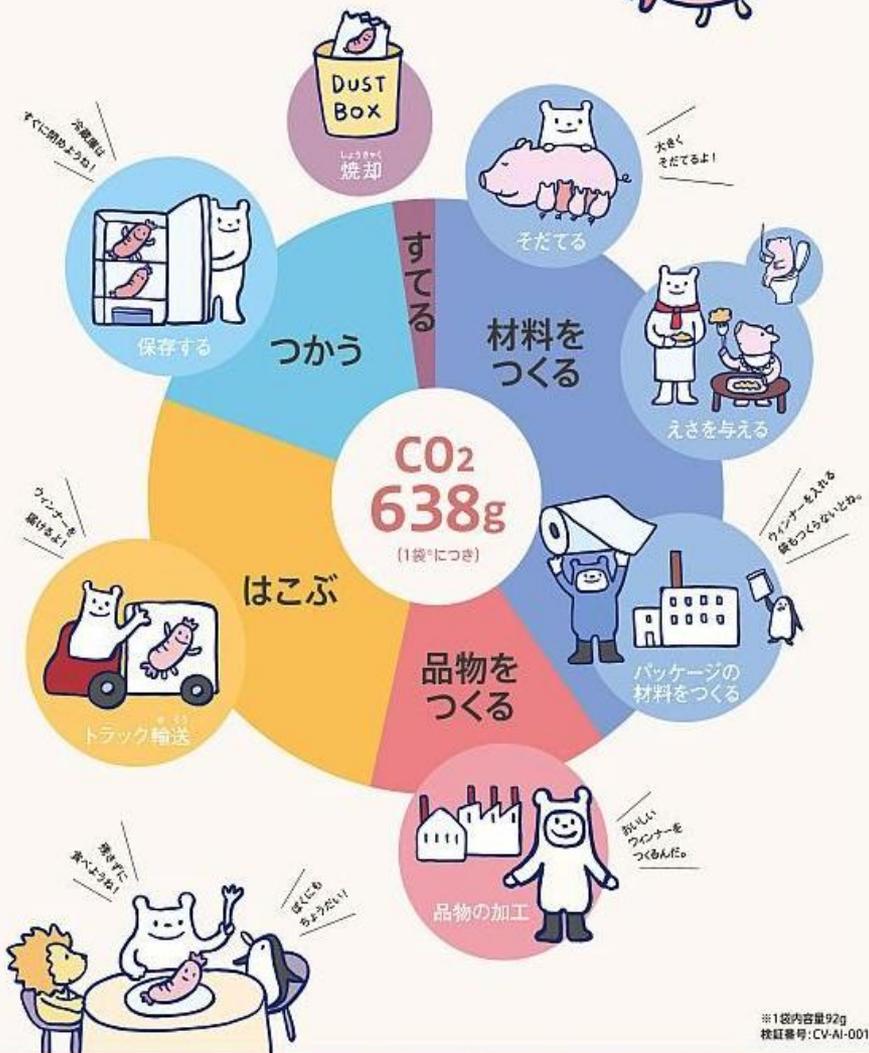
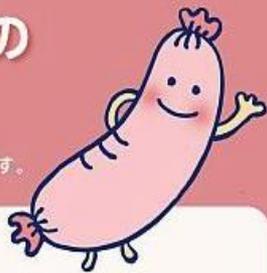
ハム・ソーセージのライフサイクル



ライフサイクルフロー図とは…製品の原材料調達から廃棄・リサイクルまでの全ライフサイクルの流れを図にしたものです。PCR（商品種別算定基準）のライフサイクルフロー図を一部省略・修正して図示しています。

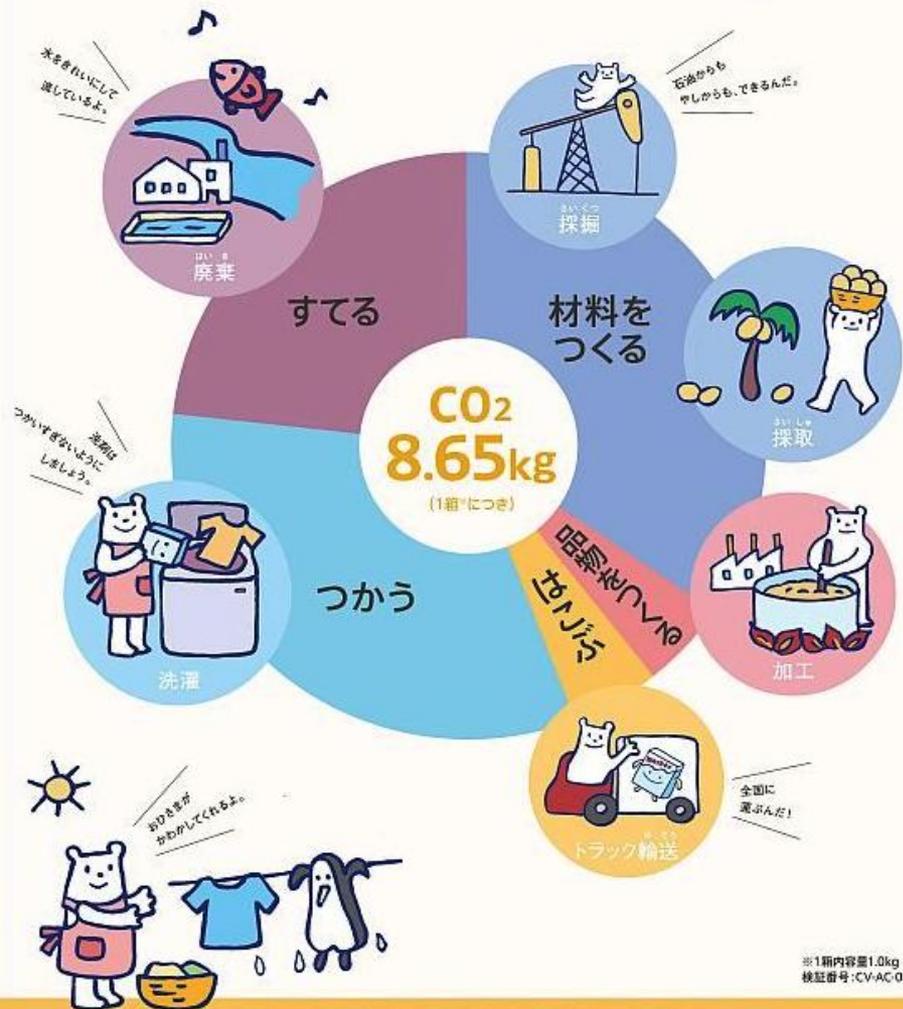
ウィンナーソーセージの一生

ウィンナーソーセージの一生で排出されるCO₂の量は1袋約638gです。



洗剤の一生

洗剤の一生で排出されるCO₂の量は一箱8.65kgです。



知ることが、変えていくための、最初の一步。



様々なPCR

2012年10月16日現在、79件のCFP-PCRが認定・公開されています。

日常生活に関する製品の例

うるち米（ジャポニカ米）

野菜および果実

ビール

出版物

ファイル・バインダー

筆記具類

ユニフォーム

タオル製品

一般照明用ランプ

BtoBの製品・サービスの例

建築用断熱材

宣伝用および業務用印刷物

アプリケーションサービス

プラスチック製容器包装

アミノ酸、ペプチドおよび核酸

オフィス家具

魚介類

平版印刷用PS版

木材・木質材料



CFPプログラムのねらい

STEP1

- 企業がCO₂削減のために、CFPに取り組んでいることを宣言し、マークの表示によって見える化する

STEP2

- どんなことが環境に影響を与えるのか？
- どうすれば減らすことができるのか？
- 自分だけでなく、みんなで減らしてゆく方法を考える

STEP3

- つくる人・使う人が、それぞれの立場で自分にできることを実践する

ライフサイクルを通じた社会全体のCO₂を削減する



環境配慮について、消費者にどう コミュニケーションするか？

- 使用時にCO2を出しません
- 軽量化による省資源化でとってもエコ！
- リサイクル●%

この表示、どう思いますか？



こんな疑問、浮かびませんか？

- 使用時にCO2を出しません
→製造時や廃棄時に出すCO2は？
- 軽量化による省資源化でとってもエコ！
→軽量化するために、素材を変えたような場合、
本当にエコになるのかな？
- リサイクル●%
→リサイクル材を30%使っているの？
回収によって30%リサイクルされるの？



【参考】グリーンウォッシュの10サイン

グリーンウォッシュとは：本当はエコでない（かもしれない）ものを、エコであると見せかけて消費者をミスリードすること

例えば…

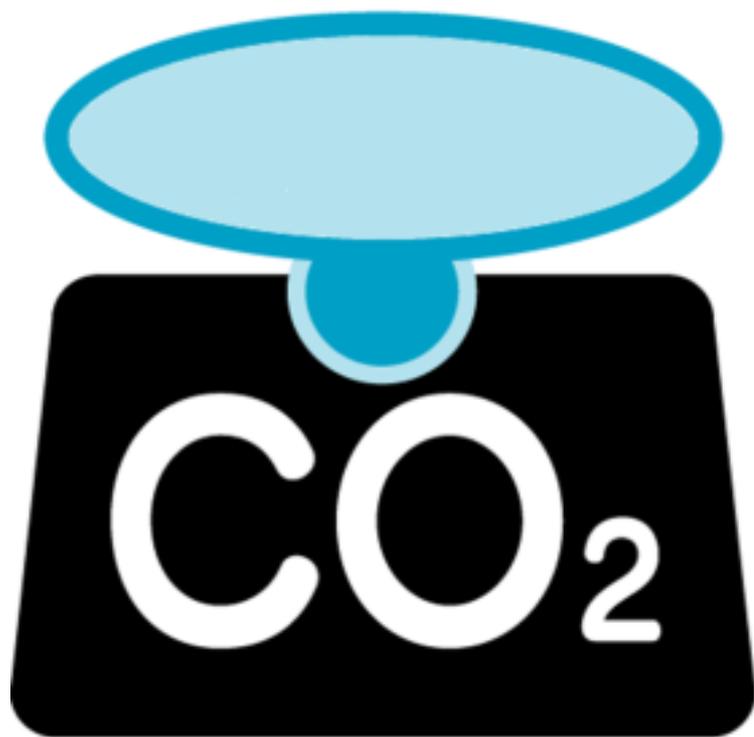
1	あいまいなキャッチ	エコフレンドリー、環境にやさしい、自然と協和する
2	裏の顔をもつグリーン商品	環境汚染防止設備が整っていない工場で製造される高効率電球)
3	暗示的なイメージ図	排気ガスの代わりに花びらを排出する自動車の図
4	見当違いな主張	主な事業の環境負荷を報告せず、小さな環境活動に焦点を当てる
5	〇〇ナンバーワン！という主張	同業者や同等モデルとの比較
6	危険をともなうグリーン商品	エコフレンドリーなタバコ
7	難しすぎる表現	専門家にしか分からないような表現や情報ばかり提供されている
8	えせ第三者評価・承認	独自のエコラベルの表示
9	証拠に欠けた主張	事実による裏付けがない
10	捏造・偽造	…

あなたの会社の製品は、
ちゃんとコミュニケーションできていますか？

せっかくのエコのための努力が、
うまくコミュニケーションできない状態に
なっていませんか？



カーボンフットプリント コミュニケーションプログラムでは



- ◆ 第三者のレビューのもとに定められた製品ごとの算定ルール(CFP-PCR)に従って
- ◆ 原材料の調達から廃棄に至るまでのライフサイクルでのCO2算定を行い
- ◆ 算定結果について、検証員（専門家）による第三者検証を受け
- ◆ その数値を登録・公開する

プログラムに基づき、適切なコミュニケーションになっているか
第三者が客観的に確認します。



登録・公開製品の例

トップバリュグリーンアイ
特別栽培米 あきたこまち

4kg入り



宮城県産ひとめぼれ
(タカラ米穀) 5kg

5kg入り



6.4 kg

CO₂

カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号:CV-AA-001



13.1kg

CO₂

CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号:CV-AA02-009

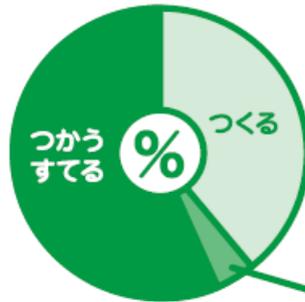
データ収集期間:2009年9月1日~2010年8月31日
2009年 宮城農林水産統計、2009年産 米生産費、JAみやぎ益米、JA古川、JA栗っこ、JA加美よつば栽培データを一部として使用
「炊飯」によるCO₂排出量を含む

CFPの表示例

マークを利用した製品への表示例
(数値表示、追加情報表示)



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1袋あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
CR-XXYY-ZZZZZ



洗濯1回あたり(水位60L)の
CO₂排出量は280gです。

WEBサイト上
の表示例
(登録情報)

カーボンフットプリント 登録情報

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-BF04-12001	1.7 製品写真
1.2	製品名称(日本語)	宮崎県産 トップバリュグリーンアイ ピーマン	
1.3	製品名称(英語)	TOPVALU GreenEye Green Pepper from Miyazaki	
1.4	製品型式	—	
1.4	製品の主要仕様・説明	生産者を限定し、栽培した宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマン(夏秋栽培)を小袋包装したもの。	
1.5	CFP算定単位	単位重量当たり(100グラム当たり)	
1.6	公開日	2012年9月24日	
2. 事業者情報			
2.1	事業者名(日本語)	イオン株式会社	
2.2	事業者名(英語)	Aeon Co., Ltd.	
2.2	電話番号	043-212-6037	
3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果(カーボンフットプリント)	0,33	「kg-CO ₂ (種数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)」
3.2	内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	0,018	kg-CO ₂ e(有効桁数2桁)
	生産段階	0,17	kg-CO ₂ e(有効桁数2桁)
	流通段階	0,025	kg-CO ₂ e(有効桁数2桁)
	使用・維持管理段階	0,11	kg-CO ₂ e(有効桁数2桁)
3.2	廃棄・リサイクル段階	0,0046	kg-CO ₂ e(有効桁数2桁)
3.3	数値表示	0.4kg	100gあたり(有効桁数1桁切り上げ)
	追加情報の記載内容	①栽培データ: 2011年2月~11月。 ②販売単位(1袋)当たりのCO ₂ 排出量は、0.43kgである。 ③CO ₂ 排出量は「調理」及び「冷蔵保存」による排出量を含む。 	
3.4	備考	宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマンは、農業や化学肥料の使用を抑えて、環境に配慮し栽培した農産物です。 データ収集及び算定はみやざきブランド推進本部(宮崎県、JA宮崎経済連)、JAえびの市に協力をしていただきました。	
4. CFP算定結果の解説			
4.1	CFP算定結果の解説	昨年度のCFPと比較して、「原材料調達段階」で、CO ₂ 排出量が減少し、「生産段階」で増加。それ以外は、ほぼ、昨年と同様の結果となった。全体では、CO ₂ 排出量への寄与度が大きい生産段階の増加が影響し、CO ₂ 排出量が若干ではあるが、増加した。 「原材料調達段階」と、「生産段階」のCO ₂ 増減の主な要因は以下のとおりである。 ●「原材料調達段階」の施肥に関するCO ₂ 排出 土壌診断に基づいた施肥設計につとめたことにより、施肥量が減ったため、CO ₂ 排出量が減った。 ●「生産段階」の燃料に関するCO ₂ 排出 当該栽培地では11月中旬等に低温が続き、暖房を中心とした燃焼の使用量が増えたため、CO ₂ 排出量が増えた。これは他の栽培地での当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください。	
5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	【改訂版】野菜および果実	5.2 認定CFP-PCR番号
5.1	認定CFP-PCR名称	PA-BF-04	
5.3	利用した二次データの考え方	カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム 基本データベースver.1.01を優先して利用しつつ、利用可能データライブラリで補充した。	
6. 検証情報			
6.1	検証方式	システム認証方式	6.2 システム認証番号
6.1	検証方式	—	CS-11001
6.3	検証番号	—	6.4 検証有効期限
6.3	検証番号	—	2015年8月9日
7	備考	—	

何が大きな影響を与えるのか、どこを改善努力するのが効果的なのか、きちんとした根拠のある具体的な数字を用いてコミュニケーション



CFPを算定することによる メリット

- 自社の製品が環境に対してどんな影響があるのか、今までより広い視野で、より具体的に見えるようになった
- CO₂削減に関して、どこを重点的に見直すべきなのかがわかるようになった
- 製品・企業をアピールできるポイントが増えた
- サプライチェーンでつながっている人々と、環境に関して継続的に話し合うネットワークができた
- 自社内で環境に関する意識が高まった。自部門以外で起きる環境負荷について意識するようになった

算定を実施することで、様々な「気づき」を得ています。

→その「気づき」を社内、取引先、消費者と、みんなで共有
(コミュニケーション) しましょう！



CO₂だけでなく...

- 算定の過程を取引先と共有することで、相手の環境に対する取組姿勢や、日頃のデータ管理の体制が見える
- 自社製品のサプライチェーンの構成がわかる

→ ライフサイクルでデータを把握をすることは、単なる企業イメージのためのCSRにとどまらず、リスク管理のためでもあり、企業成長のチャンスにもなり得る。



10/19(金) CFP活用セミナー

10月19日(金) 13:00~16:00
於：夢メッセみやぎ会議棟 会議室C (定員：30名)

カーボンフットプリント 活用セミナー

—CO2の見える化からはじめるエコ戦略—

自社製品をサプライチェーンで管理し、その環境影響を把握することによって見えてくるもの。その活用について、製品の原料調達から製造、流通、使用、廃棄までのCO2をカーボンフットプリントとして公開している事業者の方々に、事例として企業ご担当者自らお話いただきます。

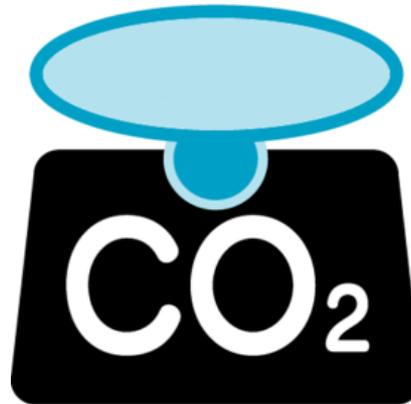
時間	内容および講演者 (※ご講演の順番は変わる可能性があります)	
13:00~13:15	CO2の見える化からはじめるエコ戦略	産業環境管理協会LCA事業推進センター 所長 壁谷 武久
13:20~13:35	事例1 食器製造	朝日化工株式会社 代表取締役 林 育生氏
13:40~13:55	事例2 印刷関連	株式会社久栄社 環境事業部 主任 平野 ゆうき様
14:00~14:15	事例3 カーテンレール製造	トソー株式会社 管理室 新木 浩之 氏
14:20~14:35	休憩	-
14:40~14:55	事例4 印刷関連	株式会社リコー 社会環境本部審議役 則武 祐二氏
15:00~15:15	事例5 食品関連	株式会社でん六 施設部 主任 古瀬 正樹氏
15:20~15:35	事例6 印刷関連	大日本印刷株式会社 中村 洋之氏

カーボンフットプリントに取り組んでいる企業の方々に、自社の取組と活用方法についてご講演をいただきました。

後日、資料および開催報告をカーボンフットプリントのWebサイトにて公開予定です。

URL : <http://www.cfp-japan.jp>

本日は株式会社デコス 田所憲一様に、
「CFPの取組と今後の展開方向」
についてお話しいただきます。



カーボンフットプリントにご興味を持たれた方は、
小間番号23「産業環境管理協会」のブースへお越しください！

社団法人産業環境管理協会 製品環境部門 LCA事業推進センター
カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム事務局
担当：石塚、伊藤、小粥
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1
三井住友銀行神田駅前ビル
TEL：03-5209-7712 FAX：03-5209-7716
E-Mail：cfp@jemai.or.jp URL：http://www.cfp-japan.jp
